

次期システムの詳細

はじめに

この資料は、三重県（以下、「本県」という。）が実施している「三重県総合税システムの再構築にかかる情報提供依頼」のうち、「次期システムの詳細」にかかる情報提供依頼の内容について、詳細を記載したものです。

情報提供を依頼したい内容については、「1 情報提供を依頼したい内容」を、提案に際して考慮していただきたい項目については、「2 提案に際して考慮いただきたい内容」をご確認ください。

1 情報提供を依頼したい内容

令和7年1月14日に実施した「三重県総合税システムの再構築にかかる情報提供依頼（RFI）」の結果から、現時点で調達可能な次期システムには、システム構成（オンプレミス、パッケージ利用、クラウドサービス）だけでなく、機能改修にかかる考え方や、運用のしやすさ、機能の詳細に至るまで、様々な相違があることが確認できました。

つきましては、次期システムとして提案をいただく税システムの詳細等について「2 提案に際して考慮いただきたい内容」を踏まえ、情報提供いただくようお願いいたします。

なお、別資料として、「依頼内容 02 現行システムと次期システムとの業務比較・機能比較」「依頼内容 03 本県の課題及び想定している解決策」「依頼内容 04 新規提案」において、◎（標準で対応可能）、○（一部条件付きで対応可能）、△（機能改修やオプションで対応可能）と回答いただいている内容については、次期システムとして一体的に提供いただくものと考えていますので、「依頼内容 01 次期システムの詳細」の回答に含めていただきますようお願いいたします。また、×（対応不可）と回答いただいた内容において、代替案等がある場合は、「依頼内容 01 次期システムの詳細」の回答に含めていただきますようお願いいたします。

また、設計・構築業務といった、導入フェーズだけでなく、運用開始後5～6年程度で実施予定の維持管理・運用・保守業務についても、「依頼内容 01 次期システムの詳細」の回答に含めていただきますようお願いいたします。なお、本県が必要とする維持管理・運用・保守業務等の詳細（常駐SE等の有無、業務範囲、役割分担等）については、検討中であり、お示しすることができないため、標準的な維持管理・運用・保守業務を実施すると想定したうえで、「依頼内容 01 次期システムの詳細」の回答に含めていただきますようお願いいたします。

表 1 次期システムの詳細に含める提案内容

提案内容の種別	対応方法
依頼 02、依頼 03、依頼 04 における◎と○の内容	依頼 01 で回答いただく次期システムの詳細として、 <u>◎と○の内容を含めてください</u> 。
依頼 02、依頼 03、依頼 04 における△の内容	依頼 02 から 04 において、 <u>△として回答</u> をいただいた内容については、◎や○と、 <u>見分けがつく形で回答</u> してください。
依頼 02、依頼 03、依頼 04 における×の内容	依頼 02 から 04 において、 <u>×として回答</u> をいただいた内容の内、 <u>代替案等がある場合は、その内容を回答</u> してください。
維持管理・運用・保守業務	次期システムを運用するために必要となる、標準的な維持管理・運用・保守業務について、その内容を含めてください。

※ 依頼 01：依頼内容 01 次期システムの詳細

※ 依頼 02：依頼内容 02 現行システムと次期システムとの業務比較・機能比較

※ 依頼 03：依頼内容 03 提案をいただきたい内容

※ 依頼 04：依頼内容 04 新規提案

2 提案に際して考慮いただきたい内容

情報提供いただくにあたり、以下の「(1) 次期システムにかかるパンフレットや詳細資料の提供」から「(1.1) 機能改修・オプション機能や代替案」に沿って、情報提供をいただくようお願いします。

なお、回答様式として、「回答様式 11 次期システムの詳細」、「回答様式 12 導入スケジュール」、「回答様式 13 他システム連携一覧」を用意していますので、必要に応じて、ご利用いただきますようお願いします。

(1) 次期システムにかかるパンフレットや詳細資料の提供

次期システムとして、提案を予定している税システムについて、パンフレット等の既存資料があれば、提供をいただくようお願いします。

なお、今後、次期システムとして提案をいただいたシステムについて、現行システムにおける業務との **Fit&Gap** を行う予定をしていることから、業務フローや役割分担等を確認することが可能な詳細資料（例えば、導入時の検討資料や利用者用マニュアル・運用担当者用マニュアルなど）についても、可能な限り提供をいただきますようお願いします。

(2) システム構成

現行システムは、オンプレミスによる構築を行っていますが、次期システムとして提案いただくシステムについて、システム形態（オンプレミス、パッケージ利用、クラウドサービス等）や、機器構成、ソフトウェア、ネットワーク構成等について、確認できる資料の提供をお願いします。

なお、導入に伴って、機器やソフトウェアの調達その他、ネットワーク構成の変更等が必要になる場合の詳細については、「(3) 新たに導入する機器」「(4) 新たに導入するソフトウェア」「(5) ネットワーク構成の変更」にて回答をいただくようお願いします。

図1 現行システムのシステム構成 (概要)



(3) 新たに導入する機器

提案をいただく次期システムがオンプレミス形態の場合、各種サーバをはじめ、ストレージ、ネットワーク機器等が必要になると想定しています。また、クラウドサービス利用型の場合は、クラウドサービスとの接続を行うためのネットワーク機器や、一部、ローカル環境のサーバ等が必要になると想定しています。

また、システム構成に関わらず、自動車税における手書きの申告書を読み取るための OCR 機器とその操作端末、三重県の指定金融機関（百五銀行）等の外部と連携（通信）を行うための通信サーバ、納税通知書や納付書など、専用紙への印刷を行うためのプリンタ等についても、必要になると想定しています。

つきましては、次期システムを導入する際に、新たに導入する必要がある機器について、提案をいただくようお願いします。

(4) 新たに導入するソフトウェア

提案をいただく次期システムがオンプレミス形態の場合、OS やデータベースなどのミドルウェア、マルウェア対策ソフトウェア等が必要になると想定しています。逆に、クラウドサービス利用型の場合は、新たに導入する必要があるソフトウェアは、ほとんどないと想定しています。

つきましては、次期システムを導入する際に、新たに導入する必要があるソフトウェアについて、提案をいただくようお願いします。

(5) ネットワーク構成の変更

現行システムはオンプレミス構成による構築を行っており、各種サーバは、三重県行政 WAN における LGWAN 接続系ネットワークに接続されています。また、現行システムと各県税事務所等を接続するための拠点間通信用ネットワーク回線として、LGWAN 接続系ネットワーク（自動車税事務所のみ専用線）を利用しています。

本県は、地方自治体におけるネットワーク構成として、いわゆるβ‘モデルを採用していることから、税業務を担当する職員は、通常の業務を行うためのパソコンをインターネット接続系ネットワークに接続し、税業務を行う場合は、税システム用の専用端末を LGWAN 接続系ネットワークに接続して利用しています。

次期システムは、システム形態に関わらず、LGWAN 接続系ネットワーク、又は、個人番号利用事務系ネットワークを利用すると想定していますが、現行システムと異なる経路での通信を行う場合は、ネットワーク構成の変更が必要になると想定しています。

つきましては、次期システムにかかるネットワーク構成の変更が必要になるかどうかを見極めるため、次期システムで利用可能なネットワーク等について、情報提供をいただきますようお願いいたします。

(6) 利用端末

税システムは、機微な個人情報を扱うことから、これらの情報へアクセスを行うための利用端末についても、高度なセキュリティ対策が求められます。

現行システムでは、税システム用の専用端末を、税業務を担当する職員一人一人に配布（約 340 台）するとともに、IC カードによる多要素認証を実施しています。

つきましては、次期システムにおいて、どのような端末から利用を行う想定なのかについて、説明をいただくようお願いいたします。

また、次期システムを快適に利用するために必要となる利用端末の推奨スペック等についても情報提供をいただきますようお願いいたします。

さらに、利用端末に対する、セキュリティ対策として、認証方法や、ローカルにデータ保存ができないようにする等の制限などの詳細について、情報提供をいただきますようお願いいたします。（特に、専用端末を利用せず、他の業務と端末を共用する場合は、端末内で機微な情報を管理する方法について、情報提供をいただきますようお願いいたします。

(7) 導入スケジュール

現行システムにおける機器のリース契約は、令和 12 年 9 月末日で終了するため、次期システムについては、遅くとも令和 12 年 10 月からの運用が行えるよう構築作業等を進める必要があります。

また、次期システムへの切り替えを行うためには、各種設計、開発、構築、各種テスト、データ移行といったシステム上の対応だけでなく、次期システムを利用する全ての職員に対する研修や運用上のリハーサル等の対応についても、計画的、かつ、着実に実施していく必要があります。そのうえ、不測の事態が発生した場合に備えて、ある程度の余裕を持った計画を立てておく必要があると想定しています。

つきましては、次期システムの運用を開始するために必要となる、各種設計、調達、構築、各種テスト、データ移行、研修等にかかる導入スケジュールについて、提案をいただきますようお願いいたします。

(8) 他システム連携

現行システムにおいて、さまざまな他システムとの連携を行っています。

これら、他システム連携については、次期システムにおいても、継続して必要になると想定していますので、次期システムで継続して利用できるかをはじめ、次期システムで新たに連携が可能になるもの、継続するためには機能改修が必要になるもの、などについて、情報提供をいただきますようお願いいたします。

特に、各市町における基幹システムの標準化対応により、新たに可能になるデータ連携や、令和 8、9 年度に予定している第五期 eLTAX への移行に伴い、対応が必要になる新たな機能（納税通知書の電子化等）についても、可能な範囲で情報提供をいただきますようお願いいたします。

(9) システム稼働時間

現行システムにおいて、オンラインは平日（営業日）の 7 時 45 分から 17 時 15 分までとしています。また、繁忙期対応として、休日オンラインの実施や、オンライン延長などの対応も実施しています。さらに、オンラインの終了後、夜間バッチ処理として、調定処理、統計資料の作成、帳票の作成等の各種作業を行っています。

つきましては、次期システムにおける、システム稼働時間の想定について、情報提供をいただくとともに、繁忙期における休日オンラインの実施可否や、オンライン延長の可否の他、バッチ処理等を行うための時間帯等についても、情報提供をいただきますようお願いいたします。

(10) 維持管理・運用・保守業務

現行システムを運用するため、現行システムにかかる維持管理・運用業務（業務内容の詳細は、「別紙 03 現行システムにおける維持管理業務仕様書」を参照）の他、ハードウェア等にかかる保守業務契約を締結し、実施しています。

次期システムにおいても、現行システムと同程度の維持管理・運用・保守業務を実施したいと考えていますが、現時点（RFI 実施時点）においては、詳細要件の整理が完了していないため、詳細をお示しすることができません。

ですが、提案をいただく次期システムを運用するうえで、なんらかの維持管理・運用・保守業務を実施する必要があると想定しており、かつ、その業務内容については、標準的な業務内容があるものと想定しています。

つきましては、提案いただいた次期システムの詳細の中に、標準的な維持管理・運用・保守業務を含めた形で情報提供をいただきますようお願いいたします。

(11) 機能改修・オプション機能や代替案

次期システムの構成として、次期システムにおける基本機能に加えて、様々なオプション機能を組み合わせた構成により提供されるものと想定しています。

この内、依頼内容 02 から 04 にて△（機能改修やオプションで対応可能）と回答いただいた機能や、×（対応不可）と回答をいただきましたが、代替案による対応を予定しているものがあれば、それぞれの機能の詳細について、情報提供をいただきますようお願いいたします。